

(案)

第3次久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のための アンケート調査へのご協力のお願い

「地域福祉計画」は、障がいの有無や年齢にかかわらず、住民の誰もが住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活が送れるよう地域全体で支え合うことができる地域づくりを目指し、社会福祉法第107条に定められた、市町村が住民の参画によって策定する福祉計画（行政計画）です。

「地域福祉活動計画」は社会福祉協議会が策定し、市民やボランティア、NPO等の民間団体とともに自主的に取り組む実践計画です。

久喜市では、これまで地域福祉推進のための基盤や体制をつくる地域福祉計画と、それを実行するための市民の活動・行動のあり方を定める地域福祉活動計画の両計画を一体的に策定することで、より実効性のある計画づくりを行ってきました。

「みんなでつくる福祉のまち 第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画」	
計画の期間	平成29年度から令和4年度まで
計画の基本理念	ともに生き、ともに安心して暮らすことのできる地域社会づくり
計画の基本目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 いきいきと自分らしく暮らすことのできる地域づくり 2 お互い様の気持ちで支え合う地域づくり 3 みんなで暮らせるまちづくり 4 サービスを利用しやすい環境づくり

※第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画は久喜市社協のHPからご覧いただけます。

<http://www.kukishakyo.or.jp/outline/plan>

ご記入にあたって

- ・この調査は地域福祉活動実践者の方を対象としています。
- ・調査結果を他の目的に使用することはありません。



久喜市社会福祉協議会では、久喜市と「第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を平成29年に一体的に策定し、地域福祉の推進に取り組んできました。

問1 以下の項目は計画の中で、地域で推進していきたいこととしてあげられた内容です。お住まいの地区で、取り組めた活動について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 あいさつや日ごろの声かけ
- 2 福祉情報などの広報や紹介
- 3 福祉教育や研修会の開催
- 4 ボランティアや助け合い活動
- 5 サロンなどの交流活動
- 6 自主防災組織や災害対策
- 7 高齢者等への見守り支援
- 8 その他 ()

問2 以下の項目は計画の中で、市や社協が推進していくこととしてあげられた内容です。計画策定前(平成27年頃)と比較してどの程度進んだと感じますか。

(1～5の該当する番号を1つ選んで○)

取り組み	とても そう思 う	そう思 う	あまり そう思 わない	そう思 わない	わか ら ない
1 健康づくりやいきいきサロンなどの生きがいがづくりの場や機会が増えた	1	2	3	4	5
2 生活に関する困りごとを相談できる場所や機会が増えた	1	2	3	4	5
3 福祉に関する情報を得やすくなった	1	2	3	4	5
4 福祉サービスが充実した	1	2	3	4	5
5 災害時要援護者の支援体制づくりが進んだ	1	2	3	4	5
6 隣近所の見守りや声かけが進んだ	1	2	3	4	5
7 ボランティア活動やNPO活動が活発になった	1	2	3	4	5
8 誰もが住みやすい福祉のまちづくりが進んだ	1	2	3	4	5

問3 今後、お住まいの地区では、どのようなことが心配だと感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 新型コロナウイルスの影響で今後の予定が立たず、交流活動ができない
- 2 集会所等拠点となる場がない
- 3 地域活動に参加しない人が多い
- 4 高齢者や障がい者等支援を必要とする方が増えている
- 5 支援の担い手がない
- 6 福祉や防災への意識が高まらない
- 7 移動手段が限られている
- 8 空き家が増えている
- 9 身寄りがない、不明な方への支援
- 10 その他 ()

令和5年からの「第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画」に向けて、今後の地域福祉の推進について、ご意見をお聞かせください。

問4 これからの計画の中で、地域住民が取り組んでいくこととして、望ましいと思う内容を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 自分の地域の課題は自分自身のこととして考え、行動していくこと
- 2 誰もが支え、支えられるという支え合いの地域をつくること
- 3 いくつになっても役割を持って生き生きと活躍できること
- 4 高齢になっても自分自身の健康づくりを続けていくこと
- 5 地域で誰もが参加できる場や交流できる場を増やしていくこと
- 6 地域で身近に相談できる場や人を増やしていくこと
- 7 地域の中で課題を解決できるサービスや仕組みを構築すること
- 8 その他 ()

問5 これからの計画の中で、市や社協が取り組んでいくこととして、望ましいと思う内容を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 福祉教育や地域活動、ボランティア活動の普及・啓発をすること
- 2 専門職として適切な相談支援を行えるよう資質を向上すること
- 3 相談しやすく、たらい回しにならない相談の窓口をつくること
- 4 必要な福祉情報を必要としている人に適切に届けること
- 5 年齢や障がいに関わらず、活躍できる場や交流の機会を増やしていくこと
- 6 権利擁護の推進
- 7 よりよい福祉サービスの提供
- 8 地域活動団体への資金援助
- 9 災害や緊急時の体制を構築すること
- 10 空き家対策や地域の方が活動できる場づくり
- 11 多機関協働による横断的ネットワークの構築
- 12 その他 ()

問6 ボランティア活動や地域活動を活性化させていくために、皆さんが力を入れている内容を教えてください。

問7 地域福祉を進めていく上でご意見がございましたら、自由にお書きください。

あなた自身のことについておたずねします。

問8 あなたの年齢は？ (○は1つ)

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-------|
| 1 | 20代 | 2 | 30代 | 3 | 40代 | 4 | 50代 |
| 5 | 60代 | 6 | 70代 | 7 | 80代 | 8 | 90代以上 |

問9 あなたの現在のお住まいの地区は？ (○は1つ)

- | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|---|------|
| 1 | 久喜地区 | 2 | 菖蒲地区 | 3 | 栗橋地区 | 4 | 鷲宮地区 |
|---|------|---|------|---|------|---|------|

ご協力ありがとうございました。

福祉委員